

「健康で心豊かに長生きをしましょう。」

令和元年 10 月 30 日
村山 章

「真の自由とは自我からの解放」という言葉がありますが、深いですね。一方「自我の確立」も重要です。若い頃に色々と経験をし、経験からさまざまなことを考えて自我を確立、さらに自己実現、自我実現することがその人の幸福に大きくつながるのだと思います。

一般社団法人倫理研究所は、戦後すぐの頃に丸山敏夫氏が設立した民間団体のようです。会員組織として倫理法人会、家庭倫理の会などがあるようです。弊社も入会しましたが、実践の基本には『『明朗(ほがらか)』『愛和(なかよく)』『喜働(喜んで働く)』』であり、つきつめれば『純情(すなおな心)』になることとあります。ここでは毎週 1 回、朝の 6 時から 7 時までのモーニングセミナーを全国の四百数十か所で開いているそうですから大したものですね。戦後の未曾有の経済大発展を精神面から支えてきたんだと感じました。昭和 24 年に創刊された「万人幸福の葉」17 か条に、私たち人間社会に起こる色んな事象に対する考え方、取り組み方が網羅されていると思います。ぜひ読んでください。

子供の頃は空想に耽ったり自分の殻に閉じこもったり、夢を描けなかったりします。学生時代は友人と話し合い議論をしながら競争社会で生き抜く術を学び、一人の人間として成長していきます。そのプロセスにおいては、自分の性格を分析し与えられた環境を理解したうえで受け入れ、そして自分を精神的にどれだけ強く育てていけるかが重要だと思います。

このとき、自分の揺るぎない信念がちゃんとできていないと周りに振り回されてしまい、考えが流されてどんどん変化してしまいます。揺るぎない信念の土台となるのが「倫理」なのだと思います。倫理を原点として誠心誠意精進すれば怖いものはなくなります。そして自信につながります。そうなれば不安や恐怖心からも解放され強い自分を保つことができます。倫理、人と人との間の道徳的な秩序を意味する人倫はとても大切です。